

インターペット東京と大阪で開催決定

一般社団法人 ペットフード協会

会長 石山 恒



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、当協会が毎年実施しているペットフード産業実態調査の平成30年度(平成30年4月1日〜平成31年3月31日)の集計結果によると、出荷量は前年対比99.6%、(59万4千頭)であった。一方、猫の出荷量は前年対比106.1%(302.4億円)となり、犬の出荷量は前年対比97.8%となり、犬の出荷量が減少した。また、去10年以上続いた大幅な減少は見られず、前年対比前年対比98.8%、(87万7千頭)となり、2012年の第3次法改正時には、インターネットによるペットの販売は年間僅か百数十頭であったが、2019年には数万頭に達し、販売時の説明責任の観点から、ある程度歯止めが必要であるという見解によるもので、次に2021年には販売或いは譲渡を生後

6日から行うことになり、また、フリーダーやペットショップの飼育施設管理基準も厳格化され、今後段々とペットに対する福祉向上を要求される。そして、2022年には新しく飼養される犬猫に、マイクロチップの装着義務が発生し、ペット所有者の明確化と社会的責任が増すことになり、今後の法改正により、ペットショップで飼養されている犬猫の福祉向上という観点から、ペット業界団体(犬猫適正飼養推進協議会)は動物取扱業者のための飼養管理ガイドラインを今春発表し、業界の自発努力を促すことを計画しています。

また、犬や猫の世帯飼育率が先進国の中、最低であり、使役犬の歴史のない日本では殆ど理解され

ていないペットの便害について、世界的な学術誌の要約版の出版も計画し、サプライ・デイマンド両面から業界発展のために努力したい所存です。

本年10回目を迎えるインターペットは、東京ビッグサイト(2020年東京オリンピック記念)にて使用されるため、数百メートル離れた青海会場(3月26日から29日の4日間)開催します。

本年は東京に加え愛知スカイエキスポにて、11月21日から22日に開催することが決まりました。皆様のご参加をお待ちしています。

ペット用品統一表示ガイドで「適合品証」

一般社団法人 日本ペット用品工業会

会長 赤津 功一



新年おめでとうございます。

昨年度の秋はラケビーで日本中が燃えました。日本がONETEAMを実感しました。

生活者として用品をお求めの際には、この「適合品証」の付いている用品をお求めください。また、お店様で用品を並べる時は同マークのあるものを確認してください。

また、工業会のイベントとして会員有志の方々と一緒に、猫の「にゃんたら」を特別協賛、観賞魚の「日本観賞魚センター」等、小鳥小動物の「パード&モルアニマルフェア」等々の展示会を協賛し、各地で開催のオンラインです。また、日本がONETEAMを実感できるものと思います。

不遇流行の元、私共も日本ペット用品工業会として着実に前に、PETs産業の健全な発展に努めて参ります。

本年も引き続き、一指導、鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

工業会は「Chaille n gable」として、子供

の時からシニアまで、その5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

工業会は「Chaille n gable」として、子供

の時からシニアまで、その5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

工業会は「Chaille n gable」として、子供

の時からシニアまで、その5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

現在飼育率は犬12.5%、猫9%、魚小鳥、

人も動物も命への責任の所在明確に

公益財団法人 日本アマルトリスト

代表理事 甲斐 尚子



皆様、あけましておめでとうございます。

昨年(本年)は多くの出来事がありました。自然災害が被災された方々に、心よのお見舞い申し上げます。また、元号も新しくなり、新天皇が即位され、めまぐるしく世の中が変わっていきま

私どもへの相談も多くなり、日々奮闘進んでいただいております。最近特に増えているのが、社会福祉協議会の方やケアマネージャーさんから、生活保護を受けておられる方たちの動物引取り依頼です。

「自身の生活が頑張っても出来ない方達の不足の所を助けるのが生活保護の役割だ」と思っています。これは国民の税金か

飼っていない人も、生活保護を受けなければならぬ人も多く、ケアとして一掃してあげていただきたいです。命にたいして責任は、命にたいして責任は、命にたいして責任は、

頌春

令和2年

新年はオアシスに迎えます。また、日本がONETEAMを実感できるものと思います。不遇流行の元、私共も日本ペット用品工業会として着実に前に、PETs産業の健全な発展に努めて参ります。

本年も引き続き、一指導、鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



NEW YEAR MESSAGE

方向付を示す
ガイドライン
新たな幸発想

ペット用つめ切り

NEW

- ビコックタイプ
- ギロチンタイプ
- ギロチンタイプ 大型犬用
- ニッパータイプ

有限会社 廣田工具製作所

代表取締役 廣田 義人

TEL:072 941 8335
FAX:072 941 8336

HIROTA

ペット用品総合卸

Pet Foods&Goods

株式会社 ウチダ

内田 善治

〒465-0061
名古屋市中区高針4丁目907番地
TEL052(703)6210 FAX052(702)2719
〔長野出張所〕
〒381-0034 長野市高田1107-5
TEL026(217)2903 FAX026(217)2904

**業界発展と人材育成に
貢献する**

農林水産省・環境省 認可
協同組合ペット・サービスグループ

理事長 坂口 浩一郎

事務局
大阪市中央区東平2丁目5-6-403
TEL 06-6768-2231
FAX 06-6768-2232
H・P <http://psg-pet.jp>

一般社団法人
ペットフード協会

会長 石山 恒

〒101-0041
東京都千代田区神田須田町2-3-16
ユニゾ神田須田町二丁目ビル9F
TEL 03-3526-3212
FAX 03-3526-0270
<http://www.petfood.or.jp/>

JPPMA

一般社団法人
日本ペット用品工業会

会長 赤津 功一

〒101-0046
東京都千代田区神田多町2-8-7
神田加藤ビル6階
TEL 03-5298-7722
FAX 03-5298-7724
<http://www.jpjppma.or.jp/>